

令和4年度第1回 山口県デジタル推進本部会議

できること、やりたいこと、広がる。

やまぐち
デジタル
改革

YAMAGUCHI
DIGITAL
REVOLUTION

1. やまぐちデジタル改革の進捗状況

- (1) DX推進体制
- (2) 「施策の3つの柱」の取組状況
- (3) 各分野の主な取組状況
- (4) 令和4年度「デジタル・魁プロジェクト」の進捗状況

2. 「やまぐちデジタル改革基本方針」の改訂

1. やまぐちデジタル改革の進捗状況

(1) DX推進体制

① CIOミーティングの定期開催



関 治之 氏
《(一社)ロード・フォー・ジャパン》

- ① 本県におけるデザイン思考の普及
- ② デジテック for YAMAGUCHIの運営
- ③ デジタルマップの利活用



砂金 信一郎 氏
《LINE(株)》

- ① 本県におけるデザイン思考の普及
- ② 建設産業におけるデジタル技術の普及促進と魅力の発信
- ③ 中小企業のデジタル技術の導入促進



中井 陽子 氏
《日本マイクロソフト(株)》

- ① 教育データの活用
- ② スマートシティの推進
- ③ 教育データの活用

② 山口県デジタル・ガバメント構築連携会議

令和4年4月、国の動向や課題等を市町と共有し、各取組について対応を検討

- 情報システムの標準化・共通化について
- 行政手続のオンライン化について
- RPA等の共同利用について
- マイナンバーカードの普及促進について
- デジタルデバイド対策について
- 等

③ DX推進官民協働フォーラム「デジテック for YAMAGUCHI」



(令和4年8月末現在)

発足日	令和3年6月10日
会員数	783(個人647名、法人136団体)
目指す姿	会員同士の交流・共創を通じた持続可能な課題解決コミュニティ
活動目標	共に考え、挑戦し、克服する

⇒ 会員同士の課題解決に向けた共創活動が実装へ

- ✓ 市民エンジニアが開発したレノファプロジェクトアプリ(駐車場可視化サイト)を4月に実装
- ✓ 新たなプロジェクトメンバーを加え、アプリのさらなる改善に向けた取組がスタート
- ✓ 来年度からはレノファ山口がアプリを引き継ぎ、運用予定



取組のお知らせ →

投稿機能 →

空き状況 (色で表示)

駐車率 ←

駐車場開閉状況 (グレーは当日開場なし)

投稿者のニックネームを表示 (全員)

レノファ公式サイト

駐車場名	空き状況	駐車率
有料駐車場	空き状況	約0%
JA山口	満車	満車
トラック協会	空き状況	約5%
河川敷	空き状況	約5%
パナソニック	未開場	未開場

(2) 「施策の3つの柱」の取組状況

① 「やまぐちDX」の創出

やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を核としたDXの推進

- ✓ Y-BASEを核とした全県的なDX推進に向けた取組をさらに強化するため、意欲ある市町と連携してサテライト機能を構築
⇒ 5月、「うべスタートアップ」を「Y-BASE・宇部
ブランチ」として開設



- ✓ これまでDXコンサルで96件のプロジェクトが立ち上がり、34件が課題解決
- ✓ 利用者満足度は累計で96.1%
- ✓ Y-BASEの利活用を促進するため、DXに関する相談対応や技術支援の事例を紹介・普及

⇒ 7月から事例紹介サイト公開

Our Projects

DXコンサル事例紹介

順次掲載事例
拡充予定

相談者様の理解を得られたDXコンサル事例を紹介しております。



データドリブな野犬対策施策に向けたデータ活用

周南市では「しゅうなん通報アプリ」で収集する野犬通報データを活用できていないため、データドリブな施策を...

[詳しくはこちら](#)



iPadを活用した働き方変革により子どもと向き合う時間を増やす

周南市では「しゅうなん通報アプリ」で収集する野犬通報データを活用できていないため、データドリブな施策を...

[詳しくはこちら](#)



360度カメラとVRゴーグルを活用した建設現場体感DX

実際の建設現場に行かなくても現場を体感できるようにしたいとのご相談がありました。そこで360度カメラとVRゴー...

[詳しくはこちら](#)



シビックテックの推進

✓ 令和3年度の実証が以下の成果に発展

① 県内全6町における導入に向けた実証に発展

⇒ 8月、山口県町村会等と協定を締結し、横展開
タイプの実証をスタート



発話内容をリアルタイムに文字に起こし画面に表示することで聴力の弱い住民等とのコミュニケーションを支援



② 今年度からの実装に発展

⇒ 「粗大ごみ収集予約
システム」の運用開始

粗大ごみの戸別収集を、スマートフォンやパソコンからインターネットで申し込むことが可能で、手数料の支払いも、窓口に出向かずにクレジットカードで支払うことが可能

☰

粗大ごみ情報

品目絞り込み (カテゴリーで絞り込み) 削除

キーワードで絞り込み

品目一覧:

分類: ---

単価: ---

数量:

粗大ごみ収集予約システム

✓ スタートアップ企業等と行政・県民が協働して、地域・行政課題を解決する「シビックテック チャレンジ YAMAGUCHI」を実施

⇒ 8課題に対して40社が応募



地域活動をデジタルでもっと豊かに！
デジタル時代の地域拠点の姿と一緒にかたちづくりたい！！



24時間365日、いつでも思い立ったときに健診の予約を！
デジタルの力で働き盛りの世代の受診率をアップして、健康寿命を伸ばしたい！



ぶち、せんない！（ものすごく面倒くさい！）
スポーツ開放の手続きをできるだけ簡単にして、仲間と気軽にスポーツを楽しめるまちにしたい！



子どもたちが、見て、聴いて、感じて、ふるさとに興味を持つデジタル社会科副読本教材をつくりたい！



シビックテックチャレンジ
YAMAGUCHI



問い合わせ対応に、AIのチャタで革命を！
問い合わせ履歴から自動生成でFAQ(よくある質問)をつくりたい！



まるで森の宝探し♪
高付加価値木材の生産者と材木業者のマッチングシステムを構築したい！



「えっ！まさか、私が被害にあうなんて...」サイバー犯罪やネット被害の脅威を「自分ごと」として体験できる場をつくりたい！



災害時の被害把握を迅速に！
現場報告システムで初動体制をさらに早く

オープンイノベーションの推進

- ✓ フォーラムの会員同士がノウハウや技術等を持ち寄り、県内をフィールドとした実証実験等を行い、新たなソリューションなどの先導的事例の創出を目指す「デジテック・オープンイノベーション」を実施

⇒1次募集で1件を採択、2次募集を実施中

《高齢者の生活利便性向上にむけた支援サービス構築》

- 買い物代行を始めとした生活支援サービスをタブレットを用いて提供する仕組みの社会実装に向けた実証
- 民間企業2社と行政による協働の取組



データドリブンの実施

- ✓ 行政保有データと民間データを掛け合わせることで、新たな気づきとアイデアを創出し、地域課題の解決や新たなサービスを生み出す取組として、行政職員と県民が協働で実施する「官民データ活用のワークショップ」を開催



専用フレームワーク活用

アイデア創出・事業マーケティングで必要となるフレームワークおよび解説書を準備し、参加者の皆様の個別ワークへの取組みをご支援致します。



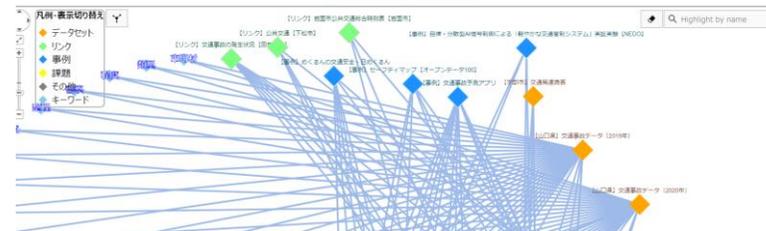
AIによるデータ分析

作成アイデアをAIを用いて分析し、関連する事例やデータなどを表示することで、更なるアイデア深堀をワークショップを通じて体験頂けます。



官民混合チーム編成

様々なバックボーンを有する参加者の皆様を、混在チームとして編成することで、新たな気づきとコミュニティ組成を促進して参ります。



オープンデータ及び関連する事例情報や各種外部サイトへのリンク情報等を芋づる式で検索できる仕組みを活用

データドリブンの実施

- ✓ 県産業技術センターに設置した「宇宙データ利用推進センター」を中心に、衛星データを活用した新事業創出に取り組む企業への支援の実施

《宇宙産業分野での起業への産学公金連携による支援》

- 衛星データ等を使った低コストかつ高頻度でのインフラや周辺環境監視の一次スクリーニングを目的とした監視手法の開発
- 宇部市発スタートアップ企業(株)New Space Intelligenceによる取組

※左から

(株)YMFZONEプランニング、(株)山口銀行、(株)New Space Intelligence、宇部市、山口県、山口県産業技術センター

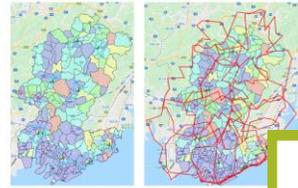


- ✓ データを活用した施策立案・新サービス構築プロセスを、コーチング型のアクティブラーニングで体験し、民間のコンサルティングノウハウをベースとした汎用的なビジネススキルを習得する「山口データアカデミー」を開催

⇒ **県9部局・5市町から計35名が参加**

データによる仮説の検証

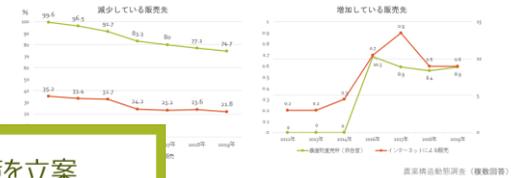
仮説:直販施設が減り、移送距離が伸びて燃料費が増えている



⇒徒歩圏内(青線)では市内をカバーでき

データによる仮説の検証

仮説:仲卸業者が増え、販売手数料が上がっている



少し、インターネット販売等が増加している

《内閣府実証事業を活用した取組支援》

- 衛星データ等を使って醤油原料の高品質・高収量生産による安定供給を実現するための実証事業に採択
- 山口大学農学部発のベンチャー企業「アグリライト研究所(株)」やヒガシマル醤油などによる取組

検証した仮説に対応する施策を立案

検証できた仮説

- 移送距離が伸びて高騰している(燃料費など)
- 仲卸業者が増え、販売手数料が上がっている
- 担い手の減少によって一人あたりの作業時間が長くなっており、作業効率が落ちている



- 移送コストの集約を行って縮減を図る
- 労働コストの集約を行って縮減を図る
- 販売コストの縮減を図る

②「デジタル・ガバメントやまぐち」の構築

行政手続のオンライン化・マイナンバーカードの普及促進

- ✓ 添付書類の精査や事務手続の見直し(BPR)を行いながら、行政手続のオンライン化を推進

⇒県関係手続について、今年度中にオンライン化完了(現時点、8割超をオンライン化(申請件数ベース))

- ✓ 誰もが簡単にオンライン手続を利用できるよう、県HPにワンストップ窓口となる「やまぐちオンライン手続総合案内サイト」開設(令和4年4月)

⇒手続申請ページ:月平均 約4,500アクセス



- ✓ 行政サービスの更なる利便性向上に向けて、今年度、電子契約サービス・Web口座振替受付サービスを導入予定

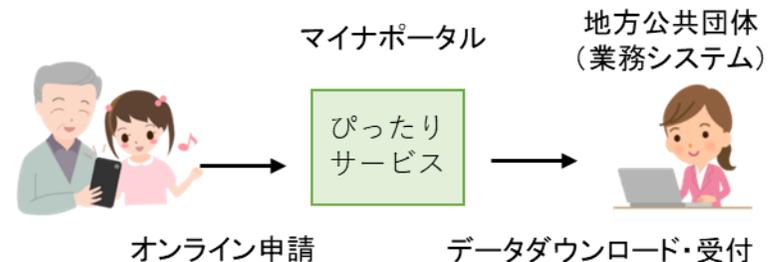
- ✓ オンラインでの本人確認を安全・確実に行うための基盤となるマイナンバーカードの普及促進

⇒国のマイナポイント事業等とも連携し、県・市町による普及啓発・広報活動を展開

＜交付枚数率48.9% 全国7位(令和4年8月現在)＞

- ✓ 特に住民の利便性向上に資する県・市町手続(子育て・介護等)について、今年度末までにマイナンバーカードを用いてオンライン申請が可能となるよう、ワーキンググループにより推進

⇒県及び8市町・延べ74手続がマイナポータル等からマイナンバーカードを用いて申請可能



デジタル・ガバメントに関する市町支援

- ✓ デジタル・ガバメントの取組を全県的・計画的に進めるため、県において外部人材を確保し、市町に対する専門的な相談対応や課題解決に向けた提案・助言等を実施

○相談窓口の設置(Web会議等:週1回程度)

○巡回相談の実施(月2日程度)

<支援内容>

行政手続オンライン化に関すること
情報システムの標準化・共通化に関すること
情報セキュリティ対策に関すること
その他デジタル・ガバメントの取組全般に関すること

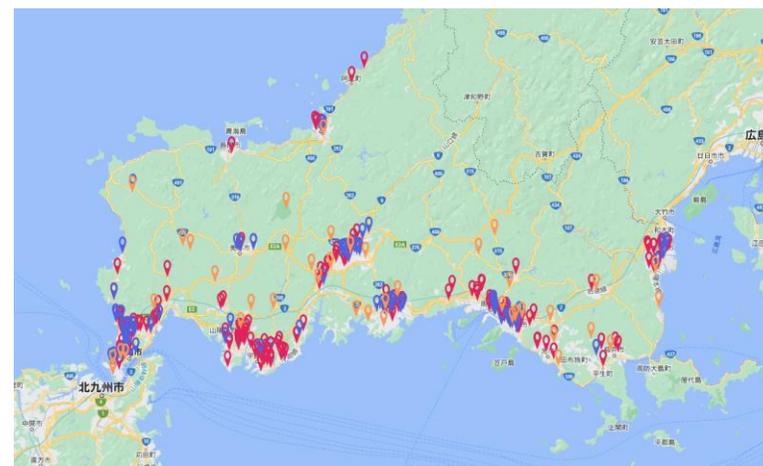


**⇒ 18市町・58件の相談対応(8月末時点)
オンライン手続作成研修会の実施**

オープンデータの推進 デジタルマッピング

- ✓ オープンデータカタログサイトのデジタルマッピング機能を活用し、安心・安全に関するデータを可視化

**⇒身近な交通事故情報及び不審者情報を追加
アクセス数も大幅に増加**



交通事故情報

- 2019年・2020年の県内の交通事故の発生場所、日時、内容、道路形状、当事者の年齢層等の情報を公開
- 全事故及び死亡事故に分けて地図表示

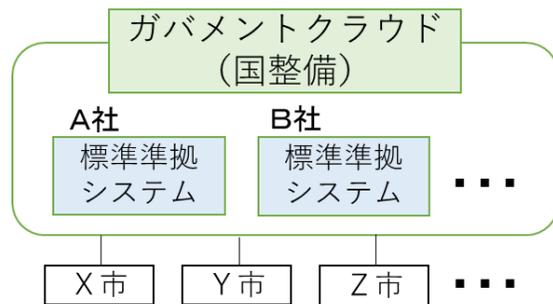
不審者情報

- 2022年に発生した不審者による声掛け等の発生場所、日時、事案概要等の情報を公開
- 被害対象を女性・子供に分けて地図表示

情報システムの標準化・共通化

- ✓ 国が定める基幹20業務※について、目標時期(令和7年度)までに、ガバメントクラウド上の標準準拠システムへ移行できるように、計画的に推進

⇒ ワーキンググループで、国の動向や課題、進捗を共有

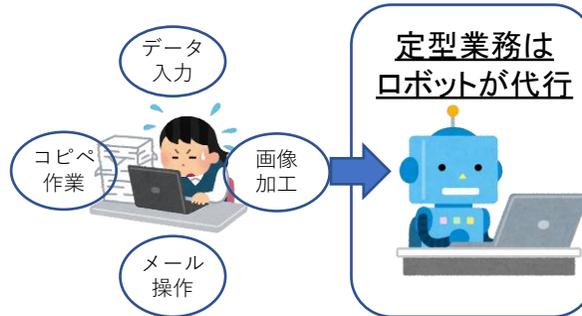


※児童手当、子ども・子育て支援、住民基本台帳、戸籍の附票、印鑑登録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、戸籍、就学、健康管理、児童扶養手当、生活保護、障害者福祉、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金

AI・RPAの活用

- ✓ 定型業務を自動化するRPAや、議事録作成支援システム等のAIを順次導入

⇒ RPA:20業務(R4予定)
(許可・届出業務、調査集計業務等)



- ✓ 導入コスト削減等を図るため、ワーキンググループで、市町との共同利用も推進

⇒ RPA:5業務(R4予定)
(給与計算業務、各種申請入力業務等)

議事録作成支援システム

(15市町)

デジタル・ワークスタイルの推進

- ✓ デジタル技術を最大限に活用し、テレワークやペーパーレス協議、Web会議の活用を促進

⇒ 大型モニターの整備 (各部局長室)



⇒ 1人用Web会議ブースを順次設置

(各部局・総合庁舎)
30台



⇒ コミュニケーションツールの導入



③「デジタル・エリアやまぐち」の形成

デジタル人材の育成

- ✓ デジテック会員を対象に、AIモデルを開発できるプログラミング技術を学ぶ「やまぐちAI Quest」をオンラインで提供

⇒ 280名が受講中

- ✓ 高校生を対象に「やまぐち高校生データサイエンティスト育成講座」を開催

⇒ 基礎講座42名、ステップアップ講座11名が受講中

- ✓ 県内企業や学生を対象に、山口大学と連携した「データサイエンス講座」を開催

⇒ 43名が受講中

- ✓ 行政職員を対象に、ローコードツールの実践的活用を学ぶ「ローコード技術基礎研修」を開催

⇒ 31名が受講中



- ✓ 自治体・企業・団体等職員を対象に、「Tableau(タブロー)」を用いて、データの可視化を行うことができる基本的なスキルを身に付けるとともに、データの特徴を整理して第三者に分かりやすく伝えることができるノウハウの習得を目指す集合型研修を開催

⇒ 9～11月に開催

- ✓ DXの推進に重要となるデザイン思考を習得するための実践的な人材育成「やまぐちデザインシンキングカレッジ」を開講

⇒ 8月に開講イベント開催
同時に受講者を募集中



- ✓ デジタル人材育成方針に基づき、全職員を対象に必要なデジタル研修を実施(市町にも同時配信)

「Well-being」の普及啓発	YSNのあり方検討	デジタルデバйд対策
<p>✓ 「デジタル田園都市国家構想」が目指す「心ゆたかな暮らし(Well-being)」の実現について、日本における研究の第一人者及びWell-being指標の開発者を招いて、特別講演及び知事とのトークセッションを開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="84 821 404 963"> <p>Well-being研究の国内第一人者</p> <p>慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 前野 隆司 氏</p>  </div> <div data-bbox="404 821 712 963"> <p>Well-beingの計測指標を開発</p> <p>一般社団法人 スマートシティ・インスティテュート 専務理事 南雲 岳彦 氏</p>  </div> </div>	<p>✓ コロナ化を契機とした急速なデジタル化の進展による利活用拡大の可能性や、国によるデジタル基盤活用促進等の動向など、YSNを取り巻く状況変化を踏まえ、「やまぐち情報スーパーネットワーク(YSN)あり方検討会」を開催し、4つの視点からの検証を実施</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>《検証の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 急速なデジタル化の進展など、取り巻く状況変化への対応 • 新たな行政ネットワークとの経費比較等 • 廃止した場合の利用者への影響 • 光ファイバの財産的価値への着目 </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">⇒ 9月13日にあり方検討会を開催し、報告書を取りまとめ</p>	<p>✓ デジタル機器の活用による不安のある高齢者等がデジタルの『楽しさ』や『利便性』を理解し、より豊かな生活を実現できるよう、スマートフォン等を活用した効果的な事業を実施</p> <p>✓ 市町や事業者が取り組む独自のデジタルデバйд対策を支援</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>《取組事例》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 携帯ショップのない地域での公民館等を会場としたスマホ教室の開催 • 本庁や支所でのスマホよろず相談所の開設 • 老人クラブと連携した、高齢者デジタル活用リーダーの育成やスマートフォンを活用したイベントの開催 • キャッシュレス決済サービスの体験教室の開催

(3) 各分野の主な取組状況(デジタル技術の社会実装・自走の例)

◆デジタルに関連するKPIの設定状況◆

第2期「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標(KPI)

未来技術を活用した社会実装・自走件数(5年間の累計)

[R2年度～R6年度:20件]

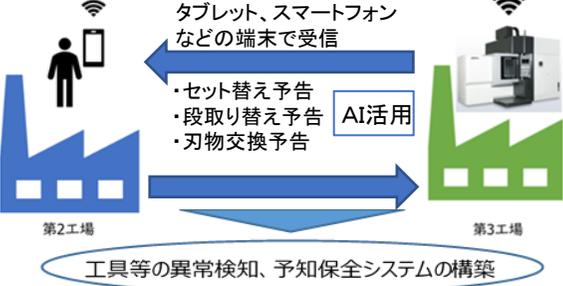
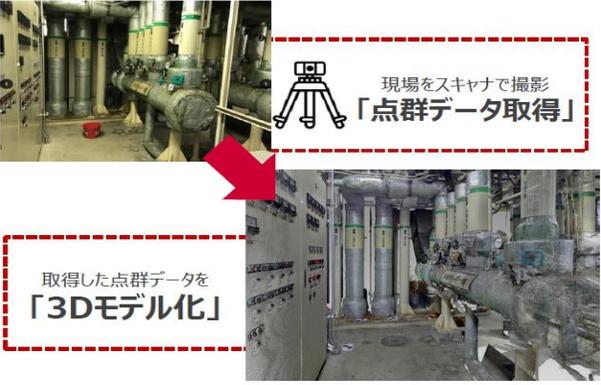
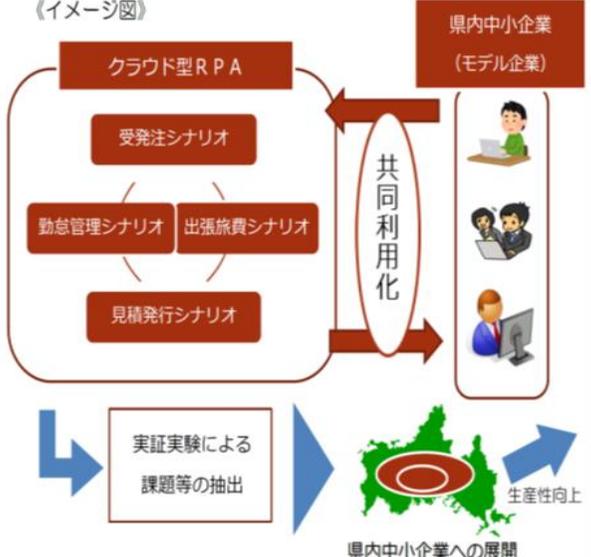
◆デジタルに関連するKPIの達成状況◆

令和3年度末で達成済み (令和2年度:8件、令和3年度:26件)

- 「やまぐちデジタル改革基本方針」(令和3年3月策定)に基づく取組が、令和3年度に各分野で大きく進展

◆令和3年度・4年度上半期にKPIを達成した主なもの◆

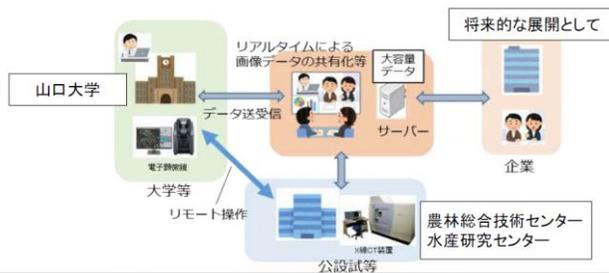
① 産業維新

スマートファクトリー	点群データによる3D立体化 (遠隔採寸・確認検査)	中小企業RPA共同利用
<p>中小製造業の人手不足や生産性向上等の課題解決を図るためスマートファクトリーモデルを創出《AIとIoTを活用した工作機械の異常検知・予知保全システム構築》</p>  <p>《AIを利用した菌床椎茸の生産管理の効率化》 《AI活用非接触自動入退場システムの構築》 《見積のRPA化・AIによる見積可能なビッグデータの構築機能》 ⇒ <u>令和4年度から本格導入</u></p>	<p>工場で製造した製品等の立体情報を3Dスキャナで撮影し、点群データとして3Dモデル化することで、遠隔地から詳細な画像の閲覧を可能にするとともに、遠隔採寸にも取り組む</p>  <p>⇒ <u>令和4年度から本格導入</u></p>	<p>中小企業の生産性の飛躍的な向上を目指すため、複数の中小企業がクラウドサービスを活用し、RPA導入に係る共同シナリオ作成などコストダウンを図る実証実験や課題検証を実施</p> <p>(イメージ図)</p>  <p>⇒ <u>令和3年度から本格導入</u></p>

バーチャルラボ

リモート研究開発環境の実現により、県下の遠隔地での解析・分析能力の向上を図り、企業の新製品・新サービス開発を促進

- 農林総合技術センター
地鶏の筋繊維の解析
- 水産研究センター
放流トラフグの耳石に装着した蛍光標本の確認



⇒ 令和4年度から本格導入

ぶちうま！情報ステーションDX ぶちうま！アプリ

デジタル技術を活用し、若年層等幅広い世代への新たなアプローチや地産地消対策を推進し、県産農林水産物の消費を拡大

《ぶちうま!情報ステーションDX》

タッチ式コンテンツ



アイコンをタッチすると見たいコンテンツが選べる
(産地ライブ配信、クイズ、図鑑、電話質問など)



《ぶちうま！アプリ》

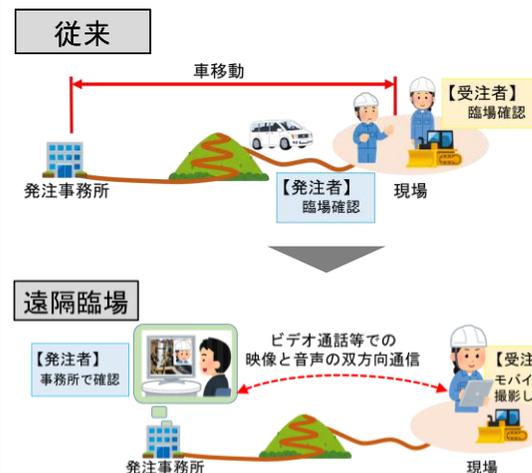
参加店舗での購入によるポイント獲得、ポイント獲得と連動した食育機能、電子クーポン・オリジナルLINEスタンプの配信等



⇒ 令和3年度から本格導入

公共工事における遠隔臨場

公共工事に係るリモート現場管理の推進により、建設現場の生産性を向上、就労環境を改善



⇒ 令和3年度から本格導入

② 大交流維新

ぶらやま

新山口駅から山口、萩・長門、宇部・美祢を対象に、やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」を活用した交通系デジタルチケットの販売や超小型モビリティ・電動バイクのレンタルなど新たなモビリティサービスを提供

スマホ1つで、ぶらっと山口旅

山口県の交通と体験が繋がる。
お得な交通&観光デジタルチケットを販売！

「ぶらやま」を使う
※スマホ専用



⇒ 山口市街地は令和3年度から
萩・長門は4年度から本格導入

やまぐちデジタルギャラリー やまぐちバーチャルアートミュージアム

文化振興・誘客拡大に向け、「山口県立美術館」「萩美術館・浦上記念館」所蔵品のデジタル化を進め、デジタル技術を活用したコンテンツの運用を開始

《やまぐちデジタルギャラリー》



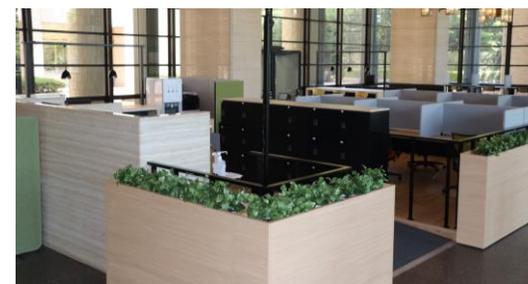
《やまぐちバーチャルアートミュージアム》



⇒ 令和3年度から本格導入

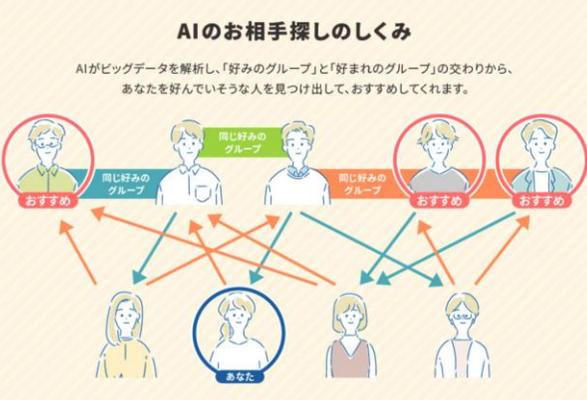
YY! SQUARE

「地方創生テレワーク」のモデルオフィスを県庁1階に開設し、都市部テレワーカーの受入れ・移住等を促進



⇒ 令和3年度から本格導入

③ 生活維新

AI婚活	ちよるなび	ぶちエコアプリ
<p>やまぐち結婚応援センターの会員に対していつでもスマートフォンから非対面・非接触でお相手探しなどができるマッチングシステムによる1対1の出会いの機会を提供</p> <p>《主な機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマホで会員登録・お相手探し ・ オンラインでのお見合い・相談対応 ・ AIがお相手探しをサポート  <p>AIがお相手探しのしくみ</p> <p>AIがビッグデータを解析し、「好みのグループ」と「好まれるグループ」の交わりから、あなたを好んでいそうな人を見つけ出して、おすすめしてくれます。</p> <p>⇒ <u>令和3年度から本格導入</u></p>	<p>スマホのLINEを活用した「やまぐち子育てAIコンサルジュ(愛称:ちよるなび)」により、県民からの妊娠、出産、子育てに関する問合せに24時間365日対応するなど、一貫した伴走型支援を実施</p>   <p>ちよるなびのスマホ画面イメージ</p> <p>ちよるなびのスマホ画面には、子育てに関する様々なアイコンが並び、中央には「やまぐちの子育ての悩みは、ちよるなびに聞いてみんさい!」というメッセージが書かれています。</p> <p>⇒ <u>令和4年度から本格導入</u></p>	<p>県民生活に伴い排出されるCO₂の量を可視化するとともに、省エネ・エコに関する様々な情報を配信し、脱炭素型ライフスタイルへの実践行動を促進</p>  <p>ぶちエコアプリのスマホ画面イメージ</p> <p>ぶちエコアプリのスマホ画面には、QRコードと「ぶちエコアプリ」のロゴが中心にあり、周囲には「暮らしの中のCO₂排出量が見える化」「エコポットでポイントGET!」「毎日エコを取り入れて、ポイントもらっちゃお。」などの情報が表示されています。</p> <p>⇒ <u>令和3年度から本格導入</u></p>

分身ロボット いじめ・不登校対策

障害や入院等で通学が困難な児童生徒に学びの機会を保障するため分身ロボット「OriHime」(5台)を整備し、病室等から教室の授業へ参加することができる体制を構築



不登校等の児童生徒が、学校に配置されたスクールカウンセラーと直接会えない場合でも、相談・カウンセリングを受けることができるよう、1人1台タブレット端末等を活用して、オンラインによる相談やカウンセリングを行える体制を構築

⇒ 令和3年度から本格導入

電子図書館サービス

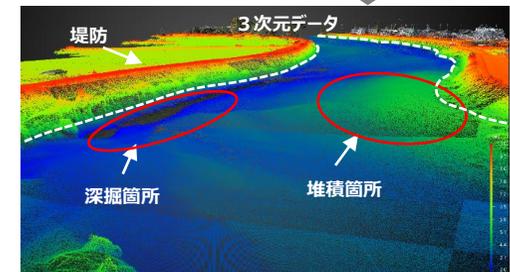
県立山口図書館において、インターネットを通じて自宅等に居ながら読書や学習、調査・研究ができる電子図書館サービスを導入(調査研究のための専門書や辞典、ビジネスや医療、スキルアップに役立つ実用書などの電子書籍を提供)



⇒ 令和3年度から本格導入

インフラ監視・点検(河川)

ドローン等により取得した地形データを活用した河川の変状監視手法を検討



このデータを基に河川の地形の変状を監視

⇒ 令和4年度から本格導入

AIによるSNS巡回

AI技術を活用したSNS内の巡回等により、県内の大麻関心層(大麻の隠語等のキーワードを検索・投稿している者)に対し、自動的に警告動画等を配信し、大麻の違法性等を強く訴えかけ、乱用の未然防止を図る

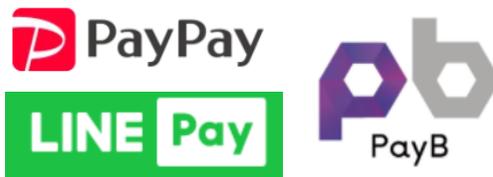


⇒ 令和3年度から本格導入

キャッシュレス納付

各種手数料や使用料等の納付において、スマートフォンアプリ、クレジットカード及びPay-easy(ペイジー)によるキャッシュレス納付が可能

《スマートフォンアプリ》



《クレジットカード》



※山口県公金納付サイトから

《Pay-easy(ペイジー)》

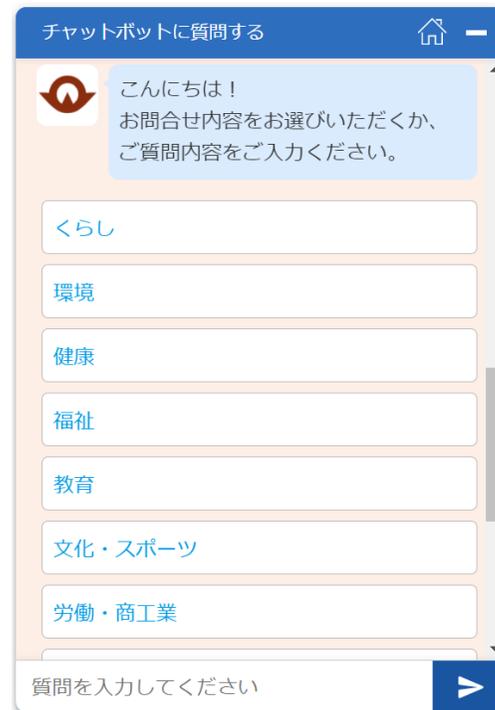
インターネットバンキング
モバイルバンキング



⇒ 令和3年度から本格導入
令和4年度から拡充

県民相談AIチャットボット

県民からの各種質問とその回答を一元的にデータ化して、県民相談に活用するFAQシステムを構築し、これを基に県HP上にAIチャットボットを設置



⇒ 令和4年度から本格導入

(4) 令和4年度「デジタル・魁プロジェクト」の進捗状況

デジタル化の効果を目に見える形で、県民の皆様にいち早く実感してもらうことができるよう、特定の政策テーマの下、関連する施策の中から先導的な取組をプロジェクト化し、『デジタル・魁(さきがけ)プロジェクト』として、重点的・集中的に実施

<p>①「デジタル de 子育て支援」推進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 総合的な子育て支援システムである「やまぐち子育てAIコンシェルジュ」の本格運用を4月から開始。➤ 県民のシステムの利用状況を分析し、AIにより回答が可能な範囲の拡大などサービス内容を改善。
<p>②「やまぐちスマートスクール構想」推進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 高校生を対象として、学習活動で日常的にICTを活用した実践事例や、ICTを活用した社会変革につながるアイデアの提案、プログラミング成果物等を評価するコンテストに向けたワークショップを開催➤ データサイエンティストを目指す高校生への学習の場の提供を目的として、高校生向けのデータサイエンティスト育成講座を開講➤ 総合支援学校における児童生徒の自立と社会参加を促進するため、学校にしながら社会体験や職場体験ができるオリジナルVR動画の作成に必要な機器を整備➤ 選抜性の高い大学への進学を希望する高校生を対象に、1人1台タブレット端末を活用して、発展的な知識・技能の育成を図るハイレベルな講義・演習を実施➤ ICT環境を活用し、複数校が同時に受講可能な資格取得に関するオンライン講座やデジタル化対応産業教育装置を活用した資格取得講座等を実施➤ 私立学校運営費補助等により各私立学校の教育ICT化を支援予定

<p>③「日本一の安心インフラやまぐち」実現プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新たな手法による地形の変状監視を島田川で実施するため、3次元地形データの取得に向け調整中 ➤ 特殊橋等の損傷箇所の早期発見・早期対応を図るため、3次元データの作成及びひずみ計・変位計による計測を実施 ➤ 小規模橋梁の定期点検・診断業務の効率化・高度化を図るため、AIを活用した点検・診断システムの構築、ガイドラインの作成 ➤ インフラメンテナンスの高度化・効率化を図るため、デジタル技術の活用を河川や橋梁以外の施設に拡大するとともに、各施設のデータの連携やオープン化に向けた検討に着手 ➤ 測量・設計、施工、維持管理の各段階における3次元モデルの活用により、建設現場の生産性向上を図るため、測量・設計業務において3次元モデルの作成の試行を実施
<p>④「未来を切り拓く中堅・中小企業DX」促進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ものづくり企業のDXに向けた取組を促進するため、5GやAIなどの未来技術を活用した実証テーマを創出するとともに、新設した補助金によりデジタル実装を支援 ➤ 山口市中心商店街において、来街者の年齢や性別等を自動的に集計するAIカメラを用いた商店街の人流データを収集する実証事業等を支援 ➤ リモート研究開発環境の実現により、県下の遠隔地での解析・分析能力の向上を図り、企業の新製品・新サービス開発を促進する事例を実装環境で実証 ➤ 県内中小企業における3Dプリンターを基盤とした3Dものづくり技術の活用推進のため、3D関連機器の研修や、専門アドバイザーによる3D技術の導入支援等を実施 ➤ 県内企業や学生を対象に、山口大学と連携した「データサイエンス講座」を開催すると共に企業課題の解決のためのケーススタディを実施 ➤ 生産性向上や既存ビジネスの変革等を目指した情報処理システム構築に対する補助など、フェーズに応じた切れ目ない支援を総合的に展開 ➤ リアルとオンラインを併用したハイブリッド形式の展示会出展等の支援により、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた販路拡大の取組を支援 ➤ インターンシップ、採用選考等の企業の採用活動にデジタルを効果的に活用するためのノウハウを習得する企業向けセミナーの開催、企業に対する伴走支援の実施 ➤ 中小企業の経営課題の解決に必要な経営人材やデジタル人材等の専門人材確保に向け、就業や副業等多様な形態での首都圏等のプロフェッショナル人材とのマッチングを促進 ➤ 県制度融資「DX対応支援資金」により、DXを通じた革新的な生産性向上等に必要な資金を金融面から支援 ➤ 新たな働き方の導入に向けた専門家による助言、提案、アフターフォローが受けられるワークショップを開催するとともに、伴走支援等を実施、実践モデル創出に対する補助の実施

<p>⑤ 「地域を支えるスマート農林水産業」加速化プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 果樹や施設園芸等の農業経営資産の可視化やデジタル化による経営承継のモデル実証及びモデル実証推進員を通じた支援体制の構築に向けた取組を開始 ➤ 柑きつ園での環境モニタリングデータに基づくAI制御技術を、「通信型マルドリシステム」に搭載した、栽培自動化技術の現地導入に向けた開発を開始 ➤ 麦の栽培管理・品質改善を図るため、衛星画像解析やAIによる穂数計測技術等のデジタル技術を活用した生産体制の構築に向けた取組を開始 ➤ 牛の個体情報を管理するクラウドシステムや健康監視システムの実装による、子牛の生産効率等の効果検証を開始。また、搾乳ロボット等先進技術を備えた「酪農スマートファーム」の整備に向けた取組を開始 ➤ 林業の労働環境改善に向け、LPWA(遠距離通信無線網)の整備やアシストスーツ等の導入支援を開始するとともに、スマート林業技術導入マニュアルを発行 ➤ 低コストな主伐-再造林-貫作業システムの構築に向け、これまで実証・開発された複数のスマート技術・装備をワンパッケージ化して実践・検証 ➤ 高級魚のハタ類等について、持続的な漁場・資源利用を可能とする操業支援システム(アプリ)の構築に向けて、漁場ごとの生息量(資源量)の調査を開始 ➤ 県内の輸出産地にバイヤーをバーチャル招へいできる県独自の「web産地招へいシステム」の導入に向けて、システムを開発中
<p>⑥ 「観光V字回復・関係人口拡大」推進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ビッグデータ等の分析結果を踏まえ、ターゲティング広告等のデジタルプロモーション、19市町を巡る県内周遊イベント、宿泊増加に向けた着地整備の支援を実施 ➤ インバウンドの本格的な再開を見据え、マーケティング視点に基づいたデジタルプロモーションを実施 ➤ 観光地経営のDXモデル創出に向けたデータ分析とデザイン思考に基づくワークショップ等を、長門市、美祢市において開催 ➤ AIを活用したゲーム性のある伝統芸能体験コンテンツを制作・公表するとともに、コンテンツ設置施設を周遊案内アプリへ掲載予定 ➤ 美術作品のデジタル化を進め、美術館でのデジタル展示やオンライン展覧を実施しており、今後も作品のデジタル化を継続しコンテンツに追加 ➤ 都市部テレワーカーの受入拡大に向けた県内関連施設のネットワーク化を推進するため、「やまぐちテレワーク・ワーケーションウィーク」を開催 ➤ テレワーク移住者等のヒアリングを踏まえ、ワーケーションやテレワーク移住を促進するためのウェビナーやワーケーション受入のノウハウを学ぶ「山口県ワーケーション塾」を開催

<p>⑦「みんなで共創！ソリューション」創出プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Y-BASEが有する高度な機能や専門人材を活用した支援を県下各地域・各分野に拡げていくため、サテライト機能を構築(宇部ランチを開設) ➤ デジテック for YAMAGUCHIのメンバー同士が地域課題解決・新たな価値の創造に向けて取り組む実証を支援する「デジテック・オープンイノベーション」において1件の実証を開始するとともに、2次募集を開始 ➤ 行政とスタートアップ企業等が協働して、デジタル技術で地域・行政課題を解決する「シビックテック チャレンジ YAMAGUCHI」において8件の課題のマッチングを進めるとともに、R3年度実証の横展開実証をスタート
<p>⑧「データ=価値創造の源泉」利活用促進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昨年度実装したデータ同士の関連性を可視化するツールを用い、スマートシティ実現に向けた官民データ活用のワークショップを開催 ➤ 「Tableau(タブロー)」を用いて、データの可視化を行うことができる基本的なスキルを身に付けるとともに、データの特徴を整理して第三者に分かりやすく伝えることができるノウハウの習得を目指す集合型研修を開催 ➤ データを活用した施策立案・新サービス構築プロセスを、コーチング型のアクティブラーニング研修を開催
<p>⑨「誰一人取り残さないデジタル社会」実現プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 光ファイバ整備に対する支援制度の継続・拡充や、光ファイバ等の超高速ブロードバンドのユニバーサルサービス化等を国に要望 ➤ 通信事業者からの提案により、スマートフォン等を活用した先駆的かつ効果的な事業の実施や、デジタルの『楽しさ』や『便利さ』が伝わる市町独自の取組に対し補助
<p>⑩「明日の社会を創るデジタル人材」育成プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 県民を対象としたAI人材育成プログラム「やまぐちAI Quest」のオンライン学習を提供するとともに、実践的なAI開発ハンズオン勉強会を開催 ➤ 行政職員自らがアプリ開発等を行うことが可能になるローコード技術を活用した研修を開催 ➤ DXの推進に重要となるデザイン思考を習得するための実践的な人材育成「やまぐちデザインシンキングカレッジ」を開講 ➤ 離職者等のキャリアアップや職種転換に向けたIT分野等の職業訓練の実施

2. 「やまぐちデジタル改革基本方針」の改訂

◆改訂の趣旨◆

- ✓ 現行方針は、令和3年3月、コロナ禍による社会全体のデジタル化の動きなどを背景に、県の取組の基本的な考え方等を示すものとして、「やまぐち維新プラン」の計画終期となる令和4年度までを対象期間に策定した。
- ✓ 県では、新たな県の総合計画「やまぐち未来維新プラン」を策定中であり、国においても「デジタル田園都市国家構想基本方針」を策定し、それに基づく総合戦略の策定等も予定されていることから、それらを踏まえ、現行方針を改訂する。
- ✓ さらに、県議会「人にやさしいデジタル社会実現特別委員会」の政策提言が、今後取りまとめられる予定であることから、方針の改訂にあたっては、この提言を踏まえた取組等も盛り込むこととする。

◆対象期間◆

- ✓ 「やまぐち未来維新プラン」に合わせ、令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年)までの5年間とし、必要に応じて見直しを行う。

できること、やりたいこと、広がる。

やまぐち
デジタル
改革

YAMAGUCHI
DIGITAL
REVOLUTION

◆改訂にあたっての基本的考え方◆

- ✓ 「デジタル社会のビジョン」、「改革の基本姿勢」、「施策の3つの柱」は、現行方針を維持
- ✓ これまでの改革の取組や成果を活かし、その更なる深化・発展を図るとともに、新たな地域課題や社会の変化、デジタル技術の進展等を的確に捉えて、新たな取組を構築

《留意すべき事項》

- 「やまぐち未来維新プラン」の取組の方向性やその内容等を反映
 - 国の「デジタル田園都市国家構想基本方針」や「デジタル社会の実現に向けた重点計画」等に基づく取組と連携
 - 県議会「人にやさしいデジタル社会実現特別委員会」の提言を踏まえた取組等の盛り込み
- ✓ なお、改訂にあたっては、CIO補佐官とのこれまでの「CIOミーティング」で蓄積された知見を反映するとともに、新たな方針案について提言を得る

◆今後のスケジュール(案)◆

令和4年度(2022年度)中に改訂

《参考》令和4年12月頃までに予定されているもの

- 「やまぐち未来維新プラン」の策定
- 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略(仮称)」の策定
- 県議会「人にやさしいデジタル社会実現特別委員会」からの提言